

酸性雨とは何だろう？調べてみよう！

実施日：平成21年8月27日（木）10時～午後4時
会場：環境情報センター 活動室 駐車場
参加人数：15名（小学生12名、中学生1名、保護者2名）
講師：北里大学医療衛生学部健康科学科、
相模原市環境保全課

事業結果

岩下先生より

酸性雨の発生源が自然界からのものと人為的活動からのものがあること、酸性雨の定義や影響、PHの数値と電気伝導度との相関関係、酸性雨を防ぐための日常生活のところがまえなどについてわかりやすく解説されました。

PH=7が中性であるが大気中の二酸化炭素が雨に溶けると約5.6となりこの数値以下の場合を酸性雨ということなど基本的なことを学び、エネルギーを使いすぎない生活の大切さを学びました。次に環境保全課より「大気汚染防止のための取り組みと相模原市の酸性雨の状況」の講義。その後自動車（ガソリン車）の排気ガスを採取して、純水を入れたゴミ袋に採取し袋をよく振り、純水と排気ガスと混合、この水のPHを測定し数値を記録。参加者が自宅で採取した雨のPHとECを測定、その他のサンプル（梅干やレモン汁）のPHを測定しました。

